2026年11月9日

各　位

会　社　名　株式会社ブロードエンタープライズ
代表者名　代表取締役社長　中　西　　良　祐
（コード番号：4415　東証グロース）
問合せ先　常務取締役　経営企画室長　畑　江　　一　生
（TEL　03-5962-0805）

連結業績予想及び個別業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年８月12日に公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想及び個別業績予想の修正に関するお知らせ」において未定としておりました2026年12月期（2026年１月１日～2026年12月31日）の通期連結業績予想の各段階利益を公表するとともに、通期個別業績予想及び配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2026年12月期通期連結業績予想の修正（2026年１月１日～2026年12月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（Ａ）（2026年８月12日公表）	12,600	未定	未定	未定	未定
今回発表予想（Ｂ）	**12,600**	**2,300**	**1,210**	**700**	**113.92**
増減額（Ｂ－Ａ）	0	－	－	－	
増減率（％）	0.0	－	－	－	

（注）当社は2026年12月期中間連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前期の連結実績はありません。

（修正の理由）

2026年８月12日の公表時点では、日本中央管理株式会社の株式取得に係る取得原価の配分が完了しておらず、連結損益への影響額を合理的に算定することが困難であったため、各段階利益を未定としておりました。

今般、取得原価の配分の算定作業が概ね進捗し、のれん等の償却額について当期業績への影響の目途が立ったこと、及び下期に実施した債権流動化に伴う費用の見込みが明らかとなったことから、各段階利益を公表するものであります。主な前提は以下のとおりです。

・連結営業利益：連結による取得関連費用及びのれん等の償却額を計上しております。また、日本中央管理株式会社の不動産販売事業において、金利動向の影響を背景とした顧客の買い控えがみられること及び来期以降の業績拡大に向けて、営業人員の増員及び共有不動産事業におけるWebマーケティング等の広告宣伝費の投下を進めていることを主因として、当期は営業損失が発生する見込みであります。これらにより、当期においては同社の連結による連結営業利益の押し上げは見込んでおりません。

・連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益：債権流動化に伴う債権売却損等（営業外費用）及びのれん等の償却に係る税金費用への影響を織り込んでおります。

なお、上記は日本中央管理株式会社の株式取得に係る取得原価の配分の暫定的な会計処理に基づく予想であり、配分の完了に伴い修正が必要となった場合には速やかにお知らせいたします。

２．2026 年 12 月期通期個別業績予想の修正（2026 年１月１日～2026 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（Ａ）（2026 年８月 12 日公表）	11,700	2,300	1,100	650	105.78
今回修正予想（Ｂ）	**12,000**	**2,390**	**1,300**	**750**	**122.06**
増減額（Ｂ－Ａ）	300	90	200	100	
増減率（%）	2.6	3.9	18.2	15.4	
（ご参考）前期実績（2025 年 12 月期）	7,413	977	770	416	68.17

（修正の理由）

2026 年８月 12 日の公表時点では、下期に複数回の実施を予定していた債権流動化に伴う営業外費用が、実施時期や実施規模等により変動するため合理的に算定することが困難であったことから、経常利益及び当期純利益を前回公表予想に据え置いておりました。

売上高及び営業利益につきましては、前回公表時点において保守的に見込んでおりましたが、足元の進捗を踏まえて見直した結果、前回公表予想を上回る見込みとなりました。

経常利益及び当期純利益につきましては、2026 年８月及び９月に実施した債権流動化に伴う債権売却損等の金額が明らかとなったことに加え、第４四半期会計期間に予定していた債権流動化を実施しないことといたしました。これにより、同期間における債権売却損等が発生しない見込みとなったことから、前回公表予想を上回る見込みとなりました。

これらの結果、前期実績と比較いたしますと、売上高は 61.9%増、営業利益は 135.2%増、経常利益は 68.8%増、当期純利益は 79.9%増となる見込みであります。

３．配当予想の修正（個別当期純利益基準）

	１株当たり配当金（円）		
	第２四半期末	期末	合計
前回予想（2026 年２月９日公表）		21 円 16 銭	21 円 16 銭
今回修正予想		**24 円 41 銭**	**24 円 41 銭**
当期実績（2026 年 12 月期）	0 円 00 銭		
前期実績（2025 年 12 月期）	0 円 00 銭	0 円 00 銭	0 円 00 銭

（修正の理由）

当社は、**個別の当期純利益 500 百万円を基準**に、配当性向 20%を目安として配当を行う方針であります。上記の個別業績予想の修正に伴い、個別の当期純利益予想 750 百万円に配当性向 20%を適用し、期末配当予想を１株当たり 24 円 41 銭（前回予想 21 円 16 銭）に修正いたします。

※１株当たり配当金は、2026 年６月 30 日時点の発行済株式数 6,145,000 株から自己株式 306 株を除いた 6,144,694 株を基準に算定しております。最終的な配当金額は、個別の当期純利益の確定値及び期末の株式数により変動する可能性があります。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上